

The
Archaeology of
Fashion

ファッションの

考古学

— モード・アクセサリ・メイクアップ —

【特別展示】

入館
無料

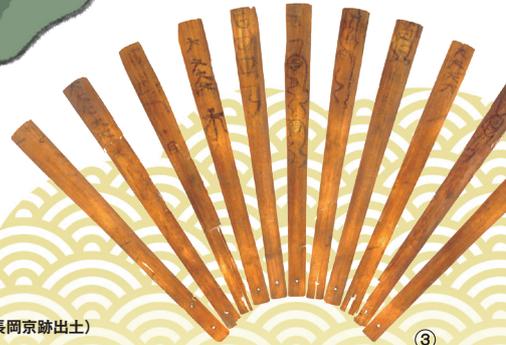
2024.7.13(土) —
11.24(日)



②



①



③

① 平安時代の櫛 (平安京右京三条三坊三町跡出土) ② 平安時代の鏡 (平安京右京三条三坊十町跡出土) ③ 奈良時代の櫛 (長岡京跡出土)



京都市考古資料館
Kyoto City Archaeological Museum

京都市考古資料館 1階
特別展示コーナー

主催: 京都市考古資料館・(公財)京都市埋蔵文化財研究所
後援: 歴史街道推進協議会  歴史街道

人々が身にまとう衣服は、寒暖の気候から身体を守るために発明されたと考えられます。やがて自然環境のみならず、性別・年齢・身分・職業などの社会的な規制、さらには個人の好みによってさまざまに展開することとなります。これをファッションと呼ぶならば、ファッションは極めて歴史性を帯びたものといえるでしょう。また、ファッションは時代の流行によって移り変わることを特徴とします。

今回の展示では、ファッションをモード(身に付ける衣服)・アクセサリー(装飾品)・メイクアップ(化粧・化粧道具)の要素から、京都市内の遺跡から出土した遺物や絵画資料・復元品を陳列することで、縄文時代から江戸時代のファッションの歴史を紹介します。

考古学からわかるファッションの世界を体感してください。



④ 古墳時代の耳環
(醍醐古墳群出土)



⑤ 平安時代の化粧道具
(平安京右京三条三坊十町跡出土)



⑥ 平安時代の烏帽子をかぶる人物の板
(鳥羽離宮東殿跡出土)



⑦ 桃山時代の「天下」銘銅鏡
(下京遺跡出土)



⑧ 桃山時代の真鍮象嵌鐲
(下京遺跡出土)



⑨ 江戸時代の目貫
(公家町遺跡出土)

関連イベント

● 館長展示解説

- ① 7月21日(日) ③ 9月22日(日)
- ② 8月25日(日) ④ 11月4日(月・祝)

京都市考古資料館3階旧貴賓室にて山本館長が特別解説。1階の特別展示コーナーでは、展示資料をみながら分かりやすく丁寧にお伝えします。

- 時間 午後2時から約1時間半
- 場所 京都市考古資料館1階 特別展示コーナー
- 定員 各回10名(事前予約制・先着順)
- 料金 1人1,000円(当日受付でお支払い)
- 申込 7月2日(火)から受付開始

● 記念講演会

- ① 9月8日(日):山本雅和(当館 館長)
「貴族の装い、武士の装い」
- ② 10月20日(日):和氣清章(当館 副館長)
「装身具における聖と俗」

- 時間 午後2時から約1時間半
- 場所 京都市考古資料館3階 旧貴賓室
- 定員 各回30名(事前予約制・先着順)
- 料金 1人1,000円(当日受付でお支払い)
- 申込 8月1日(木)から受付開始

● ワークショップ

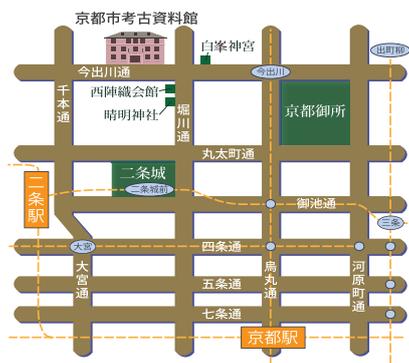
【 勾玉を作ろう! 】

- ① 7月15日(月・祝) ② 8月12日(月・祝) ③ 9月15日(日) ④ 10月14日(月・祝)

【 藍染をしよう! 】

- ① 8月11日(日) ② 9月16日(月・祝) ③ 11月23日(土)
- 時間 勾玉作り-14時から約1時間、藍染め-10時から約2時間
- 場所 京都市考古資料館
- 定員 各回10名
- 料金 勾玉作り-1人300円、藍染め-1人500円(当日受付でお支払い)
- 申込 7月2日(火)から受付開始

※上記の関連イベントは、すべて事前予約制です。開催日の前日、午後5時までに京都市考古資料館の受付へ直接申込または電話、Fax、e-mailにてお名前とお電話番号をお知らせください。



入館無料

- 開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌平日が休館)
- アクセス 市バス「今出川大宮」下車すぐ
市バス「堀川今出川」下車西へ徒歩2分



京都市考古資料館

<https://www.kyoto-arc.or.jp/museum/>
<https://www.facebook.com/kyotomaibunken>



京都市考古資料館
Kyoto City Archaeological Museum

京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265 番地の1
TEL.075-432-3245 (代) FAX.075-431-3307
E-mail : museum@kyoto-arc.or.jp